



THE HUGYUTTO TIMES

ザ・ハギユットタイムズ 「地域とこどもの未来をつなぐ」をテーマにした地域新聞です。

えどがわくばん 江戸川区版 022号
2020年10月10日発行
発行:(社)ハギユット協会

TAKE FREE

1 バグるん、「里親さん」って聞いたことあるぎゅ? 子どもの助けになってくれる人なんだぎゅ。

2 「里親さん」とは… お父さんやお母さんが大変だったりして、子どもが保護者といろんな事情で離れて暮らさなければならぬときに…

3 里親さんは、必要な期間、子どもを家にむかえて、一緒に暮らしてくれる人のことぎゅ。

4 0歳から18歳までの子どもが利用できるぎゅ。

5 子どもたちが遊んだり、食べたり、ぐっすり眠ったり、

6 子どもたちが園や学校に通ったり、

7 子ども時代を子どもらしく過ごすためには、大人のたすけが必要で、里親さんは、子どもの保護者にかわって、生活をささえてくれる人なんだぎゅ。

8 里親さんは日本ではまだまだ数がたりなくて、江戸川区でも、里親さんを今の3倍に増やしたいと考えているんだぎゅ。

9 里親さんについて、興味が出てきたバ!

詳しいことは「江戸川区児童相談所」はあとポート」にお問い合わせしてほしいぎゅ!

スマホで動く魔法新聞
このマークのある記事は「動画」でもご覧いただけます。

STEP1 「COCOAR2」アプリのインストール
STEP2 アプリを起動して動画マークのある写真をかざす

1 今一度、感染症対策として、ぼくたちができること「正しい手の洗い方」をしようぎゅ!!

2 手のひらをよくこする

3 手の甲を伸ばしてこする

4 指先・爪の間を念入りにこする

5 指の間を洗う

6 親指と手のひらをねじり洗う

7 手首も忘れずに洗う

8 せっけんをよく洗い流す。清潔なタオルで拭き取って乾かそう!

きちんと予防しようぎゅ!

養育家庭(里親) 大募集中

里親は、社会的養護が必要な子どもたちに「家庭」という居場所を届けます。

子育て経験のない方も、子育て経験のある方も、年齢も性別も問いません。少人数からのご参加も歓迎です。

お問い合わせ先: 江戸川区児童相談所 養育家庭課

里親相談会のお知らせ

里親ってなに? 里親になるための要件はあるの? 気軽に聞いていただけます。

日時	2020年	2021年
11月21日(土)	①9:30~10:15 ②10:30~11:15 ③11:30~12:15	1月14日(木) ①13:30~14:15 ②14:30~15:15 ③15:30~16:15
12月5日(土)	①9:30~10:15 ②10:30~11:15 ③11:30~12:15	2月27日(土) ①9:30~10:15 ②10:30~11:15 ③11:30~12:15
		3月11日(木) ①13:30~14:15 ②14:30~15:15 ③15:30~16:15

1コマ45分間です。ご希望の日時をお選びください。
※参加の際はマスクの着用をお願いします。お子様連れ可。

場所: 江戸川区児童相談所 はあとポート 1階地域交流スペース 〒132-0021 東京都江戸川区中央3-4-18

HUGYUTTO NEWS

10月、11月は東京都の里親月間!!

みなさんは、江戸川区にも、子どもたちの里親さんがいることをご存知ですか? さまざまな事情で、実家族と離れて暮らす子どもたちがいます。そのような状況にある子どもたちを自分の家庭に迎え入れ、育ててくれる方が里親さんです。

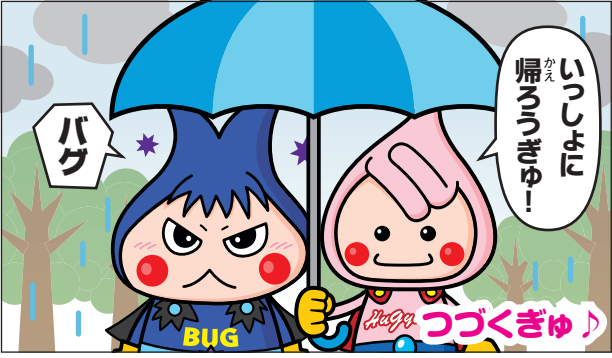
「里親」にはいくつかの種類があり、その中に「子どもとの養育縁組を目的としない」「養育家庭」があります。子どもを預かる期間は、数日から数年とさまざまです。ここでは、子どもたちが地域の中の「家庭」で生活することができ、他にも次のような良さがあります。例えば、子どもは特定の大人に愛情をもつて継続的にかわってもらえるため安心して過ごすことができ、その経験が、子どもが他の人に対して信頼感を持つことにつながると言われます。

また、特定の大人と話をしながら、一日の過ごし方や食事など柔軟に決めながら進める

興味を持ったら、まず相談してみようぎゅ!

お問い合わせ先: 江戸川区児童相談所 はあとポート
電話: 03-5678-1810

やさしさとは…



HUGYUTTO (ハギユット)とは?

ハギユットは「HUG(抱きしめる)」と「GYUTTO(ギユット)」を組み合わせた造語です。「地域とこどもの未来をつなぐ」を活動方針とし、こどもたちの成長および教育支援・地域産業の伝承・子育て中の新しい働き方の提案などを行っています。主な事業として、子育て情報ポータル・子育て地域新聞・子育て交流イベントを行っています。

※ハギユット協会の収益の一部は地域の慈善活動団体に寄付しています。

もみ込んで焼くだけ! タンドリーポーク

(エネルギー 238kcal / 人 塩分量 1.2g / 人)

レシピ: 愛国学園短期大学 / 佐藤 清香・神田 聖子



材料 (4人分) ※写真は盛り付け例です

豚肩ロース肉(薄切り)	320g	レモン汁	小さじ2
サラダ油	大さじ1	おろししょうが	小さじ1
プレーンヨーグルト	100g	おろしにんにく	小さじ1
A カレー粉	大さじ2	塩	小さじ1/2
ケチャップ	大さじ2		

ATHLETE-FOOD

作り方【調理時間:10分(漬け込み時間を除く)】

- 豚肉をAに漬ける。
Aの材料を全て混ぜ合わせた中に豚肉を入れてもみ込み、1時間ほど冷蔵庫に入れて漬けておく。
 - フライパンで焼く。
フライパンにサラダ油を熱し、①の豚肉の両面をよく焼く。少し厚めの豚肉を使う場合には、ふたをして中まで火を通す。
- ※ポリ袋に豚肉とAを入れてもみ込むと、洗いのものが少なくラクチン!
※冷めてもやわらかいのでお弁当にもぴったり!

アスリートにとってエネルギー代謝にかかわるビタミンB群はとても重要。豚肉はビタミンB1を多く含み、疲労回復にも効果があります。



どうして〇〇になったの?

「リフレクソロジー」 藤原さきさん

人に寄り添い深く繋がりがり足から元気に!

人間の手に大切な人を元気にする力があり、人に寄り添い話を傾けることで、気持ちを和らげてあげられます。そう語ったのは「リフレクソロジー」の藤原さきさん。2011年に起きた東日本大震災がきっかけで、家族を健康にしたい、健康であるようにと、リフレクソロジーを始められたとのこと。人に接すること、触れることが好きだったため、幼少期は理学療法士や美容師などにも興味を持っていた。「リフレクソロジー」とは、足を揉むことで具合の悪い人を元気にする仕事です。自分の手を信じて、お客様が元気になるまでじっくりと揉むことがやりがいだと感じています。そしてただ足を揉むだけでなく、お話を聞くことで、心と深いところで繋がっていき、そういった安心感から人は健康になっていくのだと思っています。

この仕事は、エステ業の分類に入ります。スクールや講座を受講して認定されます。現在は、通信教育でも学ぶことは可能です。認定資格を取ることはもちろん、コミュニケーションを取ることが多いため、相手に興味を持つことが人のお話を聞くことが好きな人はとても向いています。

足の裏は自分の体を映し出す鏡のような部分。一日の中で一番負担を掛けているのも足です。お風呂に入った時や寝る前にも、自分の足を見たり、綺麗にすることが健康を維持する秘訣です。これを読んでくれる皆様には、自分の足だけでなく、お仕事で疲れたお父さんやお母さんの足を揉んであげて欲しいと思います。とても明るく優しい笑顔で話してくれました。

まちがいさがし<アイデア準備>

右と左で違うところが全部で5か所。全部見つかるかな? 違うところに〇をつけよう。



【ぼく・わたし達の新聞コンテスト 作品募集!!】

＜募集要項＞
開催趣旨: (1)学校で勉強したこと、地域や身の回りの出来事に興味を持ち、調べたことを発信してもらう。
(2)ほかの学校のお友達がどうのことを学び、どのようにまとめているのかを知ってもらう。

応募方法: 学校などで作った新聞の写真をメールまたは郵送にて応募する。
※先生などに相談して、ハギユット協会宛てにお送りください。

応募受付: 締め切りは令和2年11月10日(火)必着です。
※作品の写真データは返却されません。また、優秀作品は、ザ・ハギユットタイムズに掲載予定です。

主催: (社)ハギユット協会
応募/お問い合わせ先: 一般社団法人ハギユット協会「ぼく・わたし達の新聞コンテスト」係
〒132-0015 江戸川区西瑞江3-14-81